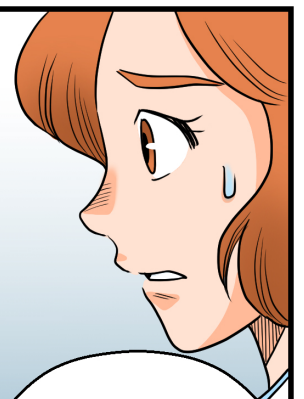




人の死が身近にありふれ
川に死体が浮いていても
当たり前前の光景として
何も思わなくなつて
しまった話

生き残るために
亡くなった兵隊の
ポケットから
食べ物を探した
という話

避難中に家族が負傷…
その負傷した家族を
背負って避難することが
困難と判断し
泣く泣く置いて行く決断を
したという話も聞きました



辛い経験ですが
「二度とこういっただことが
起らないで欲しい」
そのために体験談を
語ってくれました



こんな体験談
はじめて聞いた…
そんなことが
あったなんて！

ぞくぞく



やがて終戦となりますが
私たちのおじいちゃんや
おばあちゃんたちの苦労が
これで終わったわけでは
ありません



再開した学校



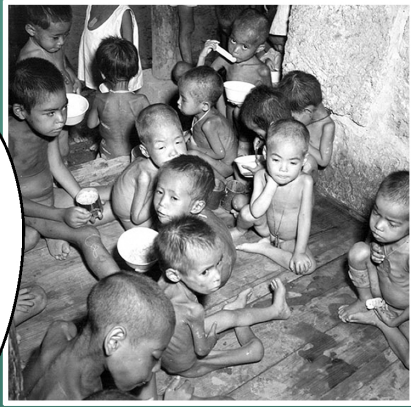
家を建てる人たち



荷物を運ぶ親子

次に待っていたのは復興です！
食べ物も物資も不足
もちろん復興の苦勞も
並大抵のものでは
なかったと思います

そこで皆さんに
考えてもらい
たいことは



孤兒院の子どもたち

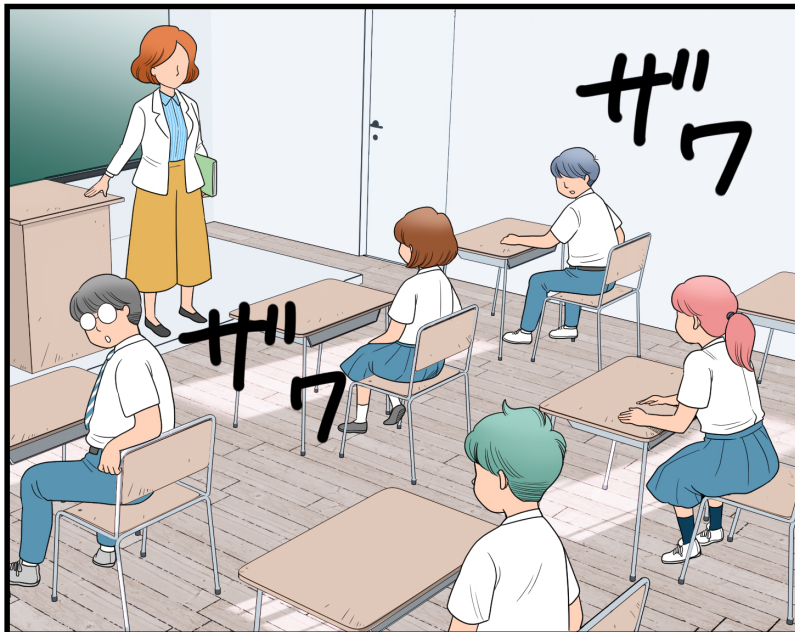


井戸から水を運ぶ人

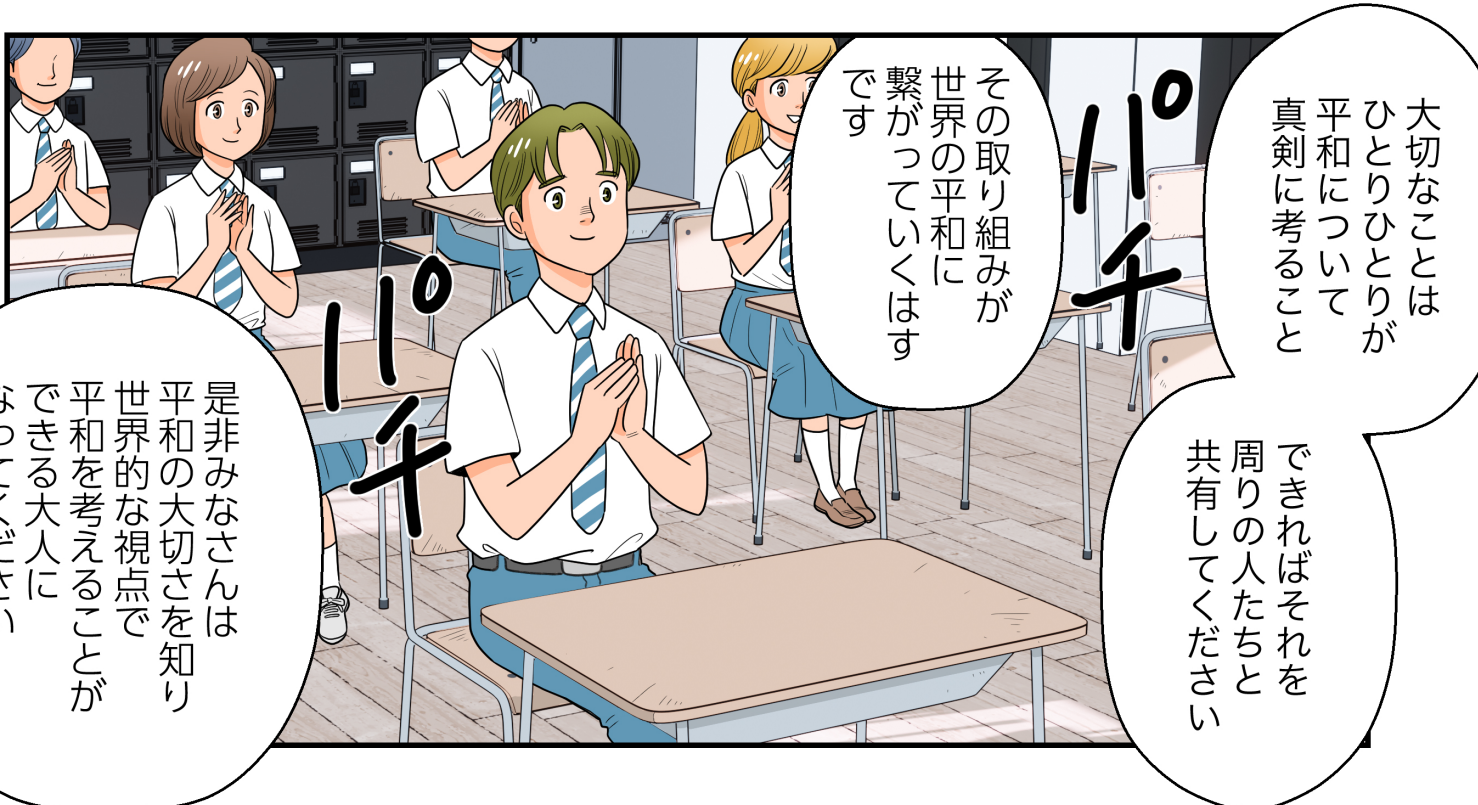
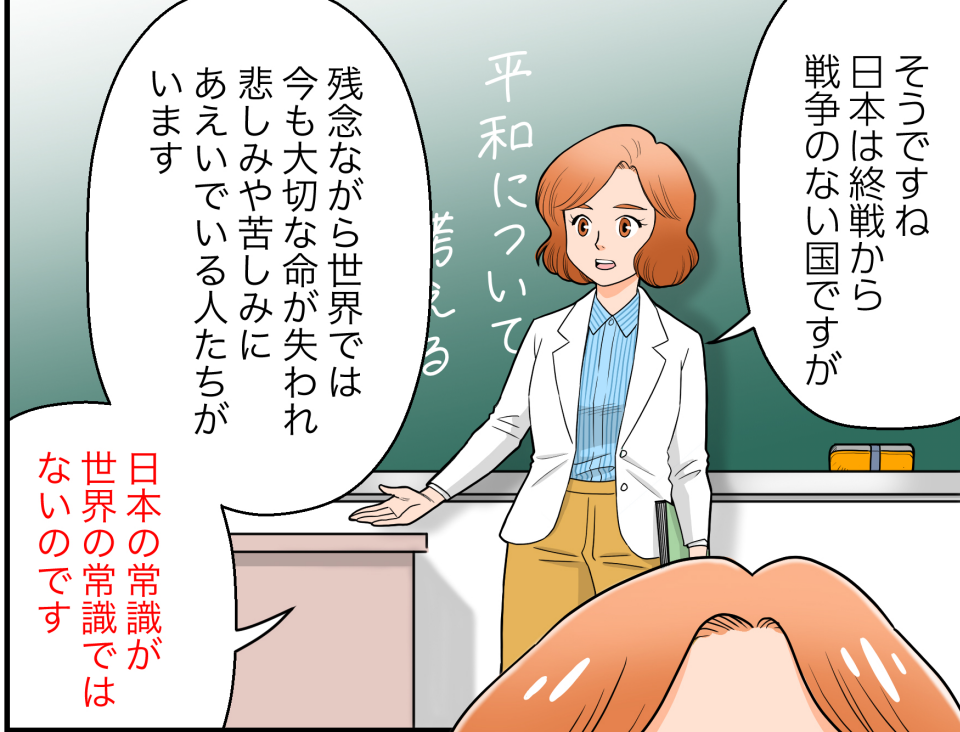
現在の豊かな
暮らしの根底には
何があるのか？
ということですよ

ではみなさん
世界は今
本当に平和
でしょうか？

そんなこと考えた
ことなかった…



悲しい歴史と
たくさんの犠牲と苦勞
それで今があるんだ…



なんかとても
ためになる話を
聞けたな！

そうね
もっと私たちは
平和について
考えるべき
なんだと思った

!!!

私は今日聞いたこと
家族に話してみる
お父さんたちも
知らないことある
かもしれないし

普段家族で
平和について
話すことなんて
ないから

俺も自分なりに
何ができるか
考えてみるかな

私たちは沖縄戦の悲惨さを
歴史や数字としてだけでなく
生きた情報として知ること
で「平和な未来」がつかわれて
いくのだと思っています
みなさんも今一度平和について
考えてみましょう

沖縄市民
平和の日 9月7日

沖縄市では、沖縄戦が公式に終結した「9月7日」を
『沖縄市民平和の日』と条例で決めました。

学習コンテンツサイトでは、「戦争体験者講話」や
「沖縄戦」について映像やアニメーションなどでわか
りやすく紹介しています。ぜひ、ご活用ください。



チェックして
みてね！

